

研究概要報告書【音楽振興部門】

(/)

研究題目	コーカサス諸民族の伝承歌謡に関する体系的研究（中間報告）	報告書作成者	久岡加枝
研究従事者	久岡加枝		
研究目的	<p>本研究では、申請者がこれまでグルジア人を中心に取り組んできた多声部合唱を中心とするコーカサス諸民族の伝承歌謡の体系的研究を進める目的で、ロシア連邦のアディゲ共和国等の地域で3か月間のフィールド調査を実施し、これまで調査することができなかった、ソチ近郊のコーカサス北西部に暮らす民族集団アディゲ人 Adyghes(12 のサブ・エスニック集団からなり、ロシア以外ではチェルケス人 Circassians と総称される)の伝承歌謡の音楽様式や内容、パフォーマンスのコンテキストについて明らかにする。</p>		

研究概要報告書【音楽振興部門】

(/)

<p>研究内容 (中間報告)</p>	<p>昨年度は、アディゲ国立大学付属・芸術研究所でアディゲ人の音楽文化について長年研究し、申請者が親交を持つロシア人の民俗音楽学者アラ・ソコロヴァ教授の協力を得て、アディゲ人が暮らすロシア連邦のアディゲ共和国(首都マイコプ Maykop および北部の町アディゲイスク Adygeysk とその近郊の村)の他、周辺のクラスノダール地方(黒海沿岸の諸都市ソチ Sochi およびトゥアプセ Tuapse とその近郊の村)でフィールド調査を実施する予定であった。歌い手に許可を得たうえで、伝承歌謡をデジカメ等で組織的に録画し、データベース化を進める。アディゲ人のサブ・エスニック集団ごとの合唱等の歌謡の様式その他、英雄叙事詩や儀礼歌等の内容について調査し、アディゲ語で歌われる歌の歌詞の記録を行い、対訳を作成する予定であった。アディゲ共和国などのコーカサス北西部に暮らすアディゲ人には、宴席で歌われる英雄叙事詩を中心とする男声合唱をはじめ、言語的に近縁関係であるグルジア人と共通する音楽文化が広まる。本研究では、イスラム教徒のアディゲ人とキリスト教徒のグルジア人の合唱の様式やジャンルの共通性と違いを明らかにし、コーカサス諸民族の伝承歌謡の体系的分類を進める予定であった。</p> <p>しかしながら、一昨年前から世界中で猛威を振るうコロナウイルス感染症が原因で、ロシアへの渡航は困難になった。そのため、渡航予定だったアディゲ国立大学のソコロヴァ教授とオンラインで連絡を取り合い、アディゲをはじめとするコーカサスの音楽に関する先行研究を調査する目的で、ソコロヴァ教授が今まで執筆してきたロシア語の論文の中から、いくつか翻訳を行った。その成果は、ユーラシア研究所から隔月刊行される『ロシア・ユーラシアの社会』の「小特集・コーカサスの音楽」として公開される予定である。</p> <p>『ロシア・ユーラシアの社会』1055号(2021年、5月)に掲載予定の論文 アラ・ソコロヴァ Алла Соколова「環ポントス圏のレズギンカ Циркумпонтийская лезгинка」(2014) アラ・ソコロヴァ「音楽フォークロアにおけるジャンルの変容:『シャミールの祈り』の事例から Жанровая трансформация в музыкальном фольклоре : на примере « Молитвы Шамиля »」(2019) アラ・ソコロヴァ「複合様式の事例としてのナウルスカヤのコリヤードカ Наурская колядка как пример стилевой контаминации」(2019) 『ロシア・ユーラシアの社会』1056号(2021年、7月)に掲載予定の論文 アラ・ソコロヴァ「遊戯歌の多態性:クラスノダール州テムリューク地区の民俗学的・民族誌学的調査におけるクバン地方の録音資料に関して Полиморфизм шуточных песен : на материале кубанских фольклорно-этнографических экспедиций в Темрюкский район Краснодарского края」(2020)</p>
------------------------	---